

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	総合演習保育 I				
担当者氏名	坂口 静子、白川 晴美				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門応用-3 コミュニケーション能力の向上 ◎ 専門応用-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

学内で学んだ保育の知識や技術を生かして子どもと直接かかわり、保育の実際を体験的に学習する過程が保育実習である。保育現場では、日々子どもたちは様々な遊び(玩具・遊具、伝承遊び、絵本、紙芝居、パネルシアター、人形劇等)を体験している。本科目では、学生自身が実際に遊びをつくり体験することによって、それぞれの特質を理解し、保育における教育的意義を見出し、その価値を認識することを目指す。

《授業の到達目標》

- 保育現場における子どもの実態を知り、子どもを取り巻く現状を把握する。
- 遊びの面白さを実感し遊びの中で育つものについて考え、実践することでその意義を理解する。
- プレゼンテーションやディスカッションをすることによって、保育者としての必要な表現力やコミュニケーション力を身につける。

《成績評価の方法》

定期試験は実施しない。
 授業における貢献度、作品によって評価する。
 平常点(受講態度等)30% 遊具制作・発表等70%

《テキスト》

使用しない。

《参考図書》

特に指定しない。
 適宜資料を配布する。
 注意事項：はさみ、のり、サインペン等を持ってくるよう指示することがある。
 造形材料の収集・購入が必要となる場合がある。

《授業時間外学習》

作品作成は授業外で完成させることもある。

《備考(教員経験の有無)》

この教科は幼稚園の教員経験に基づき構成しています。
 コロナ感染状況により学習内容の変更、時期の入れ替えがあります。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	子どもを取り巻く環境の変化と子どもの現状について 保育実践力を育成するために
2	身近な廃材遊び	廃材(新聞紙等)を使った感覚遊びからおもちゃ作りへ
3	紙芝居の仕組み	紙芝居作り 破った紙面から作る創作話
4	乳児期の養育者の役割	愛着関係と乳児期に育みたい力について
5	子ども理解と保育の展開 ①	手遊びの場面の保育指導案 指導案作成の基本的な考え方
6	子ども理解と保育の展開 ②	保育の様々な場面の保育指導案 保育者の援助・配慮・留意点のとらえ方
7	子ども理解と保育の展開 ③	廃材(新聞紙・紙皿等)を使ったおもちゃ作り指導案の作成 学生同士の共有
8	行事の意味と由来	社会行事、伝承行事、成長を祝う行事、安全健康に関する行事等の意義
9	絵本の役割と魅力	絵本の読み方、選び方について グループ発表
10	子ども関連のニュース	いくつかの子ども関連や子育て支援のニュースからの考察
11	より楽しい保育に近づくために	より楽しい保育を行うための方法、およびディスカッション
12	様々な児童文化財	様々な児童文化財の特徴と保育活動方法 (紙芝居・エプロンシアター・パネルシアター等)
13	遊びと玩具の関係	年齢にふさわしい玩具・身近な素材を使つての玩具作り
14	一人ひとりを大切に する保育	保育所の生活(食育)を通して、多方面の子どもの育ちを見つめる
15	まとめ	新しい保育内容の創造と保育者の役割